

2022年度 つむぎ 桶川ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。

今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.0	清潔を心掛け、お子さまや保護者様が安心して過ごすことができる施設づくりを目指し、スタッフは働きやすい環境をつくっていきます。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	4.6	一日の職員配置数を順守します。スタッフの専門性やスキルを高める研修や事例検討などを行っています。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.1	スタッフそれぞれ支援の時間や事務で休憩開始時間は異なりますが、休憩時間の確保を徹底してまいります。また、スタッフが勤務しやすいよう希望通りの休暇取得を継続してまいります。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	4.1	スタッフは計画性を持って業務に取り組み、効率よく業務にあたるよう業務の共有を図ってまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.5	どんな些細なご意見でも、頂いたご意見は迅速にスタッフと共有し最善策を検討しています。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.6	掲示を徹底し、保護者様やスタッフに必要な情報は伝えてまいります。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.9	内部監査事項や改善すべき点は迅速に共有し、迅速に対応してまいります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.4	内部だけではなく外部研修なども把握し、参加の機会を設けスタッフの専門性やスキル向上を図ることに努めてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.8	必要に応じて、発達検査やアセスメントツールを参考にしています。スタッフと検査項目や所見の見方を深められるよう研修の検討をします。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.9	日々のお子さまの様子はスタッフで共有をしています。保護者様と目標を共有し、策定会議を通して個別支援計画書の作成に努めてまいります。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.4	戸外や畑仕事、お子さま同士の関わりなどを通して、お子さまからでてる「やってみたい」「楽しい」「何故だろう。」などを大切に、日々の支援や活動の提供に努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.8	お子さまの成長や様子に合わせてねらいや目的をもとに活動内容を検討しています。季節や環境などを組み合わせ、お子さまが楽しく活動できるよう支援を行っています。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.4	プログラム前には話し合う時間を設けています。今後も確保するよう努めてまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.8	支援は担当制ではないため、今後も共有の時間や振り返りの時間を確保するよう努めてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.5	支援記録は業務内で終えることを目指し、記録用紙の見直しや改善を図り、短時間で内容を記載することに努めてまいります。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	4.9	対象のお子さまにつきましては策定会議をスタッフ間で行っています。今後も支援計画書作成に努めてまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.1	今後もスタッフと定期的にガイドラインの内容を共有してまいります。支援に関しては法人の方針や理念を大切にしながら、お子さまの様子に合わせて行います。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		
保護者との係連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.1	支援前後の時間や相談支援等でお子さまの状況を共有しています。お子さまの発達や課題に関してはスタッフ全員で把握し、共通理解を持って支援を行えるよう努めてまいります。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	4.1	保護者様から所属園での様子等を振り返り、所属園との連携に努めていきます。必要に応じて訪問等を行います。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	4.1	今後も市町村の発達支援センターとの情報共有に努めてまいります。他の事業所に関してもパンフレットの配布やお子さまの情報共有を大切にしています。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	4.1	放課後等デイサービス事業所の情報共有のためにスタッフは情報収集に努め、保護者様との情報共有に努めてまいります。

保護者との関係構築にやっています	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.5	今年からではありませんが外部研修の機会は増えています。今後も研修等に参加できるよう努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.0	新型コロナウイルスの影響もあり、地域の会議への参加に難しさを感じております。まずはスタッフ間の情報共有を徹底し、参加できるよう努めてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.6	事業所の特徴を活かして、お子さま同士の関わりの時間を大切にしています。今後も様々な方法でお子さまたちが関わることのできる活動や機会を提供してまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	4.6	日常の支援の中で地域の商業施設などに行く機会があります。今後は招待を見込んだ計画を図っています。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.3	保護者様同士の交流会や勉強会等は検討しております。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.8	今後も丁寧な対応に努めてまいります。些細な事でもありましたらお伝えください。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.4	支援前後の時間で相談等に応じられるよう心掛けています。月1回ではありますが事業所内相談の制度の活用をすすめております。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.6	保護者交流会などを開催しています。これからも開催を検討しています。掲示や直接お言葉で情報共有できるように努めてまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.5	頂いたご意見は当日にスタッフで共有し、今後の対応を検討しています。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.6	掲示物では支援の空き枠や体験学習などの情報発信を行っています。ホームページではブログを更新しています。今後も最新の情報をお届けできるよう努めてまいります。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.4	お子さまの様子に合わせて、言葉かけさせていただきます。専門用語はほどはあまり用いらず、言葉のスピードや声量などの配慮を心掛けます。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.5	保護者様に対して、契約時に個人情報の取り扱いのご説明をさせていただいております。記録などの個人情報もありますので、管理・保管を徹底してまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.8	会議だけでなく、日ごろからスタッフと情報共有を行っています。今後も共有を深められるよう努めてまいります。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.1
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.5	毎月、様々な災害を想定して避難訓練を行っています。警察・消防署とも連携を図り、万が一の災害に備えています。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.6	研修機会があり、スタッフ間で意識を高め虐待防止に努めてまいります。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.8	毎日、ヒヤリハット・インシデントの確認を行っています。事業所として常に話し合いができるよう努めてまいります。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.8	今後もお子さまが「やってみよう」「楽しそう」「何故だろう。」と思える支援を行います。お子さまが興味を持つことのできる環境構成を図ってまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.6	室内、戸外、畑仕事などの様々な環境でお子さまの成長が見受けられます。つむぎ内だけではなく、併設しているメリー★ポピンズ 桶川ルームのお子さまとの関わりも深めていくことですべての人が持つそれぞれの価値観を尊重できる社会をこの事業所から実現してまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		

アンケート実施期間:2022年8月12日~9月5日

全回答数 : 8

つむぎ 桶川ルーム
施設長 森田 隆之介